

決定！ 令和3年度 魅力ある県立学校づくり大賞

県教委では、魅力ある県立学校づくりに優れた成果があり、他の学校の参考となったと認められる学校を毎年顕彰しています。

最優秀賞 千葉女子高等学校



生徒が8～10の班に分かれ、大手食品会社の商品を使ったレシピを6年間で延べ約50品開発しました。生徒の写真が入ったレシピはスーパーマーケット全78店舗の店頭で配布され、千葉県立高校の取り組みを広く発信するとともに、広告チラシを見た友人や家族、地域の方々などからの反響が生徒の達成感と意欲をさらに高めました。

特別賞 東金特別支援学校

地域の方々や小・中学校にパラ・スポーツを広める同校の「オリ・パラ」推進活動は、東京2020パラリンピック閉会式で「ImPOSSIBLEアワード開催国特別賞」(*)を与えられ、千葉県立特別支援学校の取り組みを世界に発信しました。このことは、生徒・教職員に、障害者理解や共生社会推進に取り組む自信と意欲を与えました。

* ImPOSSIBLEとは、国際パラリンピック委員会公認教材



優秀賞

- 松戸向陽高等学校 介護のしごと魅力発信事業への参加や、高齢化社会の地域課題解決方法を探るゲーム型の学び「コミュニティ・コーピング」実習など、本県唯一の福祉教養科の充実に努めている。
- 千葉中学校 本県初の県立中学校である同校は、「ゼミ」による異学年間研究活動、発表会、卒業論文、卒業発表会や個人研究の発表会、千葉大学医学部や新聞社と連携した授業などさまざまな取り組みを評価。
- 長生特別支援学校 各種津波避難訓練のほか、地域の方々と釣ヶ崎海岸清掃活動や地引網体験、サーフィン体験、和太鼓演奏、さらには一宮町のパラリンピック聖火リレー採火式を本校で実施するなど大会の盛り上げに貢献。
- 大網高等学校 猛暑の中、PTAや地域の方などを含む延べ450人で東金線高架下の大壁画をリニューアル。駅前草花植栽やゴミ拾い、農産物や加工品の販売など、地域に愛される高校づくりへの取り組みを評価。
- 銚子高等学校 文部科学大臣表彰や内閣府主催の防災教育チャレンジプランに採択された「防災の学び」のほか、ジオパークツアーや課題研究全校発表会、オランダ大使館員出前授業など多彩な活動を評価。

各（応募）校の応募資料は教育庁ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/miryoku/koukou/miryoku-r03.html>

お問い合わせ先：各顕彰校および企画管理部教育政策課 電話043（223）4019